

浜松市立佐久間中学校 令和8年度 第2回 学校運営協議会

◆ 支援活動 14:20～15:20

<次 第> 15:30～

※全体進行：教頭

- 1 会長挨拶
- 2 校長挨拶
- 3 議長の選出
- 4 前回会議録の確認
- 5 熟議
 - (1) 生徒の学習活動への取組について
 - ・「自律的な学び」に向けた探究活動の今後の方向性
 - ・2月実施の市内一斉実態調査結果を受けて
 - (2) 教職員の業務量管理について
- 6 報告
 - ・休日部活動の地域展開について進捗状況
- 7 連絡
 - ・教育環境の整備（運動場クリーンアップ作戦）について

日 時 令和8年6月9日（火）14:20～

会 場 佐久間中学校会議室（2階）

◎ 学校運営協議会委員・オブザーバー・ディレクター一覧

○委員

会長	守下 武志	委員(学校支援CD)	奥山 和子
委員(学校支援CD)	向坂 美保	委員	片倉 美咲
委員	月花 明生	委員	澤村 暁央
委員	村田しのぶ		

○オブザーバー

大見 芳	NPO 法人がんばらまいか佐久間	長谷川陽子	佐久間図書館
鈴木 孝	佐久間支所	山本 巖	元公立中学校校長
高氏 秀佳	前・学校運営協議会会長	笹野 訓子	中学校区健全育成会会長

○ディレクター

新聞千代子	校務アシスタントと兼務
-------	-------------

◎ 年間の学校運営協議会の日程

回	実施日	時間	主な内容
第1回	4月9日(木)	14:30~16:00	・学校運営の基本方針や本年度の協議会の目標の確認
第2回	6月9日(火)	14:20~16:00 (含交流活動)	・総合的な学習における各生徒の探究活動への助言を通して教育活動の実際を知っていただき、熟議に活かす
第3回	10月22日(木)	14:30~16:00 (含授業参観)	・授業参観の様子をふまえ、基本方針に照らしての教育活動の評価
第4回	2月12日(金)	14:30~16:00	・学校関係者評価に基づく協議と来年度の学校運営の基本方針の承認等

◎ 生徒数および学年職員一覧

年組	男	女	計	家庭
1-A	1	3	4	3
2-A	2	4	6	6
3-A	4	3	7	7
合計	7	10	17	16

1年	主任	内山美代子	生徒指導主事
	A組担任	和田奈津穂	道徳教育推進
	1年付き	町田 真大	情報教育推進
2年	主任	恩田 晴久	研修主任
	A組担任	藤田 至真	総合的な学習
3年	主任	内山 博文	進路指導主事
	A組担任	内山 亜結	生徒会、特活主任

◎ Memo

--

令和8年度 第1回 佐久間中学校運営協議会 会議録(要点記録)

- 1 開催日時 令和8年4月9日(木) 14時30分から16時00分まで
- 2 開催場所 佐久間中学校 会議室
- 3 出席委員 守下 武志、奥山 和子、向坂 美保、月花 明生、村田 しのぶ、
澤村 暁央
- 4 欠席委員 片倉 美咲
- 5 オブザーバー 笹野 訓子(前・運営協議会 委員)、長谷川陽子(佐久間図書館)、
- 6 学 校 廣岡 誠司(校長)、鈴木 政晴(教頭)、森下 奏恵(教務主任)
- 7 傍 聴 者 0人
- 8 会議録作成者 CSディレクター 新聞千代子
- 9 委員任命書交付、自己紹介、浜松市学校運営協議会規則の確認
- 10 会長の選出、副会長の指名
守下武志氏を会長に推薦する発言があり、満場一致で守下氏を会長に推挙、本人もこれを受諾した。また、守下氏から奥山和子氏を副会長に指名する発言があり、本人もこれを受諾した。
- 11 議長の選出
司会の教頭から、議長の選出について委員に意見を求めたところ、各委員から会長を推挙する旨の発言があり、全員意義なくこれを承認した。
- 12 会議記録
委員総数7名のうち6名の出席があり、会議が成立している旨の報告があった。
- 13 前回会議、令和7年度協議会自己評価の確認
- 14 熟 議
(1) 学校運営の基本方針について(校長)
校長より、佐久間中学校グランドデザインについて説明があった。(資料参照)
 - ・ 前年度と比べ、変わっているところを説明いただきたい。(守下会長)
→目指す学校像について、『なりたい自分』と『安全で安心』の順番を入れ替えた。
本校の場合、スクールバス登校に変わったため雨などに伴う土砂崩れや道路状況によって通学が不安定になるといった課題がある。まずは生徒が安全に登校できることを最優先に考えた。またいじめなどのことも考慮し、安全で安心を第一とした。(校長・教頭)
→『なりたい自分』について中高交流を通じて「近い将来の自分」をより具体的にイメージできるようにした。(校長・教頭)
→生徒の主体性を尊重しながらも、教師が“導く”場面と“委ねる”場面を使い分け、昨年度の課題としてあがった「学力の定着を図る」ための学習指導の改善策を盛り込んだ。
(校長・教頭)

- ・ 大変わかりやすい言葉に変更されたと思う。(笹野オブザーバー)
- ・ 佐久間、浦川、山香、城西のそれぞれの地域性や事情が違ったりする地区の統合ではいろいろなトラブルに対応しなければならない。佐久間中学は「安全で安心な」の苦労が多いと思う。(月花委員)
- ・ “導く”と“委ねる”は永遠の課題だと思う。生徒の主体性を育むことは夢だが、生徒が好きなことだけやって苦手なことはやらないといったことが起こる。このバランスは難しいが、挙げていただいたことは大切だと思う。また中高一貫で自分のことが少しずつ分かってくと「なりたい自分も」も見えてくる。このグランドデザインで令和8年度は頑張っていきましょう。(守下会長)

◎ 委員全員の承認を得た。

(2) 本校の学校運営上の課題について

【休日部活動の地域展開(校長)】

校長より別途資料により説明があった。

- ・ 9月からスタートができるのだろうか。(守下会長)
→佐久間中学校は早期から動いて検討し準備してきたので9月開始可能だと思うが、やってみなければわからないということもある。(笹野オブザーバー)
- ・ 学校での平日の部活動は残るのか。(守下会長)
→平日は残ります。(教頭)
- ・ 土日に関しては一般の方や小学生も参加するといった内容で、従来のような大会に勝つことが目的の部活ではないですね。(奥山委員)
→地域の指導者と教員の指導のもとで行うことは生徒の反応も様々で、運営の難しさが想像できる。指導者、生徒、一般の方がどんなイメージを持って参加するのか、まだ準備期間があるので検討していく必要がある。(守下会長)
- ・ 人数や部活の種類も限られているので、個人的に伸びる生徒もいるかもしれないし、大規模校と比べ小規模校ならではの良さを生かせるとよいと思う。(笹野オブザーバー)
- ・ 地域の指導者が負担に感じる場合もあり得るので、その点のフォローも必要。(守下会長)
- ・ 地域の指導者と教員との間で練習内容等も密に連絡を行い考えながら進めていかなければならないと考える。(澤村委員)
- ・ 土日に試合がある場合はどうなるか。(月花委員)
→引率等については未定だが、今後地域クラブの指導者が引率することになるのではないか。(澤村委員)
- ・ 教員がいなくなってクラブの指導者だけになってしまうと、不安になってしまう。(村田委員)

- ・ 事故があった場合や保険の問題など詰めていく必要がある。(守下会長)
→地域の指導者と生徒、保護者とのコミュニケーションを図っていきたい。(澤村委員)
- 地域クラブの運営委員会を学校運営委員会後に行い検討を重ねていく。みなさんに随時報告する。(教頭)
- ・ 今後、課題を1つずつ解決しながら進めていきましょう。(守下会長)

【業務量管理・健康確保措置(校長)】

校長より、別途資料に基づき説明があった。

- ・ 学校以外で担うべきことをこれからだんだんと考えていく。過疎の地域で人材がいない中、無理のない範囲で行いたい。(守下会長)

(3) 夢育やらまいか事業に対する意見書について

教頭より別途資料に基づき説明があった。

- ・ 交通手段がない地域なので、子供たちが有意義に使ってもらえるお金であれば価値がある。(笹野委員)
- ・ 計画的にスケジュールを組んで貸し切りタクシーを使いこなしている。予定の立て方も上達したのではないか。(向坂委員)

◎委員全員の承認を得た。

15 連絡

- ・ 授業参観可能な年間行事予定
- ・ 次回は、6月9日(火)14:20～地域学校協働活動(課題探究活動への助言の会)への参加後、佐久間中学校会議室にて開催予定。

令和7年度 生徒の「自律的な学び」への支援について（感想と意見）

- ・ グループと担当でなかなか難しいテーマに取り組んで、よく頑張っていることが分かった。
- ・ 時代とともに、難しい問題です。知る人がいなくなっている。
- ・ 佐久間の今後のことを真剣に考えてくれる若い人が大勢いることに感銘を受けました。がんばって佐久間を盛り上げてください。
- ・ 自分で決めたテーマを引き続き探究していることに感心しました。これからも頑張ってください。
- ・ 生徒たちの探究熱心さにびっくりしました。昨年につき、今年もテーマが同じですので、これからももう少しテーマにしていただければうれしいです。（続けて探究してほしいです。）緑茶について、山菜について、ごまちゃんについて、私たちが分かることがあれば、山香ふるさと村へお越しくください。
- ・ 生徒自ら考え行動する良い授業だと感じました。何か手伝えることあれば協力したいです。
- ・ 大切だけど難しい、過疎化対策に取り組む姿勢に期待。佐久間を大切に、残そうと考えている子の存在、ありがたい。浦川小歌舞伎が資料に残されることに期待。
- ・ 生徒たちが佐久間町についてとても前向きに考えてくれていることに感心しました。ほとんどが浦川地区の生徒でしたので、とても気やすくお話しすることができました。答えが難しい場面もありましたが、共に考える機会をいただけえたと思いました。
- ・ 3年計画で毎年探究が深まったり広がったりしているのがすばらしいと思います。生徒の市展は、大人が気付かないところ、見落としがちなどころに向いていて新鮮でした。終日 ST 等またお手伝いできれば、と思います。楽しかったです。
- ・ 各々深掘したテーマで、答えるのが難しい内容が多く、よく考えていると感じた。地元への思いを強く感じた。地域の人ならでは、の話も聞け、参考になったのでは、と思う。
- ・ 【樽松】他地域の人、地域出身者等の交流人口を増やす方策を考える。地域が持つ魅力を再発見する→発信する方策を工夫する。
【北島】平成元年の発足以降の活動が分かる写真、動画をデータ化する。見える化する（保存会関係者から情報を得る）
【山下】「佐久間を残し続けるために」～地方に帰ってきたいと思うためには？～
【井邊】カレンダーの作成：開校～閉校をカレンダーにして”

ジャンル	聞いてみたいこと
自然	佐久間の自然 浦川のこれから（活動している人を取材）
自然(生物)	佐久間の川にいる生物
自然(生物)	川の生き物
食	お茶について
食	佐久間の食べ物
食	パンプキンレディースさんに一緒にごまちゃんを販売できるか聞きたい。
食	よもぎについて（使用方法など）
地域活性化	地域活性化
地域活性化（SDG s）	・佐久間町の課題 ・佐久間でやっているSDGsの活動について ・佐久間でできるSDGs活動
地域活性化(カレンダー)	・カレンダーはどうやって作るのか・カレンダーにどのような内容が入ってたら嬉しいか
地域活性化（ダム）	佐久間ダムの関係者方の力を借りて、パネルづくりやスタンプラリーなどの佐久間ダムを広める活動をしたい、協力を得ることは可能なのか
歴史	地域の歴史について聞きたい。
歴史	佐久間まつりの魅力

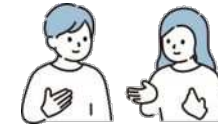
R7年度 2月 市内一斉実態調査結果より【佐久間中傾向】

①教職員		市	佐久間中
1	家庭学習の取組として、学校では、生徒に家庭での学習方法を具体例を挙げながら教えている	84	70
2	家庭学習について、生徒が自分で学ぶ内容や学び方を決めるなど、工夫して取り組めるような活動を行っている	72	50
3	子供が、各教科等の特質に応じた「見方・考え方」を働かされるように、学習過程を工夫している	94	100
4	子供が地域の魅力を発見する、または、地域の将来を考える機会を設けている	86	100
5	子供に、自らの考えがうまく伝わるよう、資料や文章、話の組立てなどを工夫して、発言や発表を行うよう指導している	93	100
6	単元構想の中に、地域や社会をよりよくするための視点を取り入れている	73	90
7	時間の使い方を意識した働き方に努めている（とても）	41	80
8	効率よく業務を進めるため、常に自分の業務を見直し、改善を図っている（とても）	44	80
9	私は、仕事に熱心に取り組んでいる（とても）	44	80
10	私は、仕事に誇りとやりがいを感じている（とても）	29	60
11	私の職場の雰囲気は友好的である（とても）	49	100
12	子供を注意、指導する場合、子供の人権に配慮し、人格を否定するような言動はしていない	78	100
13	地域の人材や素材の活用により、教育活動が充実している（とても）	22	90
14	保護者や地域住民の学校支援活動により、子供と向き合う時間の確保につながっている（とても）	16	70

②生徒		市	佐久間中
15	短所や欠点があっても、それを自分らしくてよいと思えますか	73	44
16	私がかんばりさえすれば、どんな困難なことでも、ある程度達成できると思いますか	76	43
17	どのようなとき学校が楽しいと思いますか（ほかの学年と一緒に遊ぶとき）	22	43
18	〃（給食）	49	14
19	先生は、あなたのよいところを認めてくれていると思いますか（とても）	52	71
20	家庭では、自分で計画を立てて勉強していますか（全くしていない）	14	29
21	学校の授業時間以外に、普段（平日）1日当たりどれくらいの読書を読みますか（マンガや雑誌は除く）	31	0
22	1、2年生の授業で、自分の考えを発表する機会では、自分の考えがうまく伝わるよう、資料や文章、話の組立てなどを工夫して発表していましたか	49	90

③保護者		市	佐久間中
23	学校・教師を信頼できる判断の視点（学校行事の内容が工夫されている）	21	80
24	地域の中で子供たちが育てられていると感じていますか	76	100
25	学校には、地域住民や保護者が学校の運営や支援について協議する「学校運営協議会」を設置していることを知っていますか	32	100
26	学校は、地域の人材や素材などを積極的に活用した教育活動を行っていると思いますか	72	100

- 教師が教師でなければできない業務に専念できるよう、**サービス監督教育委員会**は、これらを踏まえて、それぞれの地域における業務の見直しについて、優先的に対応するものから「**業務量管理・健康確保措置実施計画**」に反映。
- 学校は、**学校運営協議会**等での議論を経て、優先順位を定めながら、各校の実情に応じた運用を行う。これらの代表例のほか、**地域・学校ごとの議論**を踏まえて、業務を不断に見直すことが必要。



まず取り組めること・
取り組むべきことは何か、
話し合うことが大切です。

学校以外が担うべき業務

- 1 登下校時の通学路における日常的な見守り活動等**
- 2 放課後から夜間などにおける校外の見回り、児童生徒が補導された時の対応**
- 3 学校徴収金の徴収・管理（公会計化等）**
- 4 地域学校協働活動の関係者間の連絡調整等**
- 5 保護者等からの過剰な苦情や不当な要求等の学校では対応が困難な事案への対応**

※朝の時間帯や下校時間の後に、学校施設で預かり活動を行う必要がある場合は、学校以外の管理体制を構築

教師以外が積極的に参画すべき業務

- 6 調査・統計等への回答** | 学校への依頼を減らし、デジタル技術を活用しつつ、事務職員を中心に実施
- 7 学校の広報資料・ウェブサイトの作成・管理** | 学校が行う場合は事務職員等が積極的に参画
- 8 ICT機器・ネットワーク設備の日常的な保守・管理** | 教育委員会と連携を図りながら、事務職員等を中心に実施しつつ、地域の実情に応じて外部委託も積極的に検討
- 9 学校プールや体育館等の施設・設備の管理** | 教師は授業等に付随して行う日常点検を担い、外部委託等も積極的に検討
- 10 校舎の開錠・施錠** | 副校長・教頭に固定せず、機械警備、役割分担の見直し等を促進
- 11 児童生徒の休み時間における安全への配慮** | 地域住民等の支援や、輪番等を促進
- 12 校内清掃** | 児童生徒への清掃指導は、地域住民等の支援を得て、回数・範囲の合理化等を促進
- 13 部活動** | 部活動の地域展開・地域連携を推進

※ 専門スタッフとの協働、デジタル技術の活用や外部委託の促進については、地方公共団体の関係機関が積極的に参画

教師の業務だが負担軽減を促進すべき業務

- 14 給食の時間における対応** | 食に関する指導については、栄養教諭等が対応
- 15 授業準備** | 教材の印刷など補助的業務を教員業務支援員等の支援スタッフを実施、デジタル技術の活用を促進
- 16 学習評価や成績処理** | 採点作業等のうち補助的業務を教員業務支援員等の支援スタッフを中心に実施、自動採点等のデジタル技術の活用を促進
- 17 学校行事の準備・運営** | 関係機関との日程調整や物品の準備等について、事務職員や支援スタッフとの協働を促進しつつ、必要に応じて外部委託等も検討
- 18 進路指導の準備** | 就職先に関する情報収集等について、事務職員や支援スタッフとの協働を促進
- 19 支援が必要な児童生徒・家庭への対応** | 専門スタッフとの協働等を促進

学校と教師の業務の3分類

学校以外が担うべき業務		現状	備考	今後の対応（案）
1	登下校時の通学路における日常的な見守り活動等	○	実施していない	—
2	放課後から夜間などにおける校外の見回り、児童生徒が補導された時の対応	○	実施していない	—
3	学校徴収金の徴収・管理（公会計化等）	○	浜松市が一括対応	—
4	地域学校協働活動の関係者間の連絡調整等	▲	職場体験、作品展示、オリジナル弁当などは対応済み。6月の協働活動準備の連絡調整は教員。	6月の協働活動準備で協力いただけるか。
5	保護者等からの過剰な苦情や不当な要求等の学校では対応が困難な事案への対応	○	事案がない	—
※朝の時間帯や下校時間の後に、学校施設で預かり活動を行う必要がある場合は、学校以外の管理体制を構築		○	実施していない	—

教師以外が積極的に参画すべき業務

6	調査・統計等への回答 学校への依頼を減らし、デジタル技術を活用しつつ、事務職員を中心に実施	▲	事務職員も対応しているが、調査が非常に多い	学校職員で対応
7	学校の広報資料・ウェブサイトの作成・管理 学校が行う場合は事務職員等が積極的に参画	×	学校だより、ホームページなど個人情報管理などを含め、学校職員以外での対応は困難	学校職員で対応
8	ICT機器・ネットワーク設備の日常的な保守・管理 教育委員会と連携を図りながら、事務職員等を中心に実施しつつ、地域の実情に応じて外部委託も積極的に検討	○	民間業者への業務委託により、施設点検を除き遠隔操作で対応	—
9	学校プールや体育館等の施設・設備の管理 教師は授業等に付随して行う日常点検を担い、外部委託等も積極的に検討	×	分校施設のため	—
10	校舎の開錠・施錠 副校長・教頭に固定せず、機械警備、役割分担の見直し等を促進	×	分校施設のため	—
11	児童生徒の休み時間における安全への配慮 地域住民等の支援や、輪番等を促進	×		必要を感じない
12	校内清掃 児童生徒への清掃指導は、地域住民等の支援を得て、回数・範囲の合理化等を促進	×		週2回の朝清掃で、職員が対応できる
13	部活動 部活動の地域展開・地域連携を推進	▲	休日は9月から移行。平日は部活動。	今後、平日も学校外活動になるか

教師の業務だが負担軽減を促進すべき業務

14	給食の時間における対応 食に関する指導については、栄養教諭等が対応	▲	栄養教諭不在。負担は比較的大きい。	給食準備は学校職員で対応可能。食事指導は家庭か。
15	授業準備 教材の印刷など補助的業務を教員業務支援員等の支援スタッフを実施、デジタル技術の活用を促進	×	コロナ後、支援スタッフ制度廃止。新しい指導技術習得に時間が必要。	教員の本務 ※ここに時間が必要
16	学習評価や成績処理 採点作業等のうち補助的業務を教員業務支援員等の支援スタッフを中心に実施、自動採点等のデジタル技術の活用を促進	▲	生徒数が少なく教員で対応は可能。	必要を感じない
17	学校行事の準備・運営 関係機関との日程調整や物品の準備等について、事務職員や支援スタッフとの協働を促進しつつ、必要に応じて外部委託等も検討	▲	分校、小学校、水窪中との調整が必要。外部人材との連絡調整も時間が必要。	調整を必要としない協力の在り方の検討が必要
18	進路指導の準備 就職先に関する情報収集等について、事務職員や支援スタッフとの協働を促進	▲	生徒数が少なく教員で対応は可能。	必要を感じない
19	支援が必要な児童生徒・家庭への対応 専門スタッフとの協働等を促進	▲	家庭との連絡に割られる時間が多い。連絡がつく時間帯も課題。	課題だが、負担軽減のすべがない

運動場クリーンアップ作戦（学校運営協議会主催）

日時 令和7年9月12日(金)8:30~9:30 ※雨のため、一日順延した
場所 運動場・円盤投げサークル付近

参加者と内容

【ボランティア】

月花明生さん（佐久間・恵生父）

Web 経由で申し込みあり。

草刈り機持参で参加。

原多佳子さん（山香・修真母）

奥山さん経由で申し込みあり。

草取りで参加。

野菊さん（分校技能員） ※事前に分校・副校長にも依頼済み

地域のボランティアとして参加

草刈り機（学校）で参加

【学校運営協議会委員】

奥山さん（CD）草取り

向坂さん（CD）草刈り機持参で参加

【学校関係者】

すず子さん（分校技能員）草刈り機で参加

堂森さん（中学用務員）草刈り機で参加

野菊淳子さん（中学用務員）草刈り機で参加

小出校長 どぶさらい、草集めなど

鈴木教頭 //

その他

- ・ 昨年度の反省を生かし、実施日を1週間早め、草を残しておいてもらった。（分校野菊さんに事前相談して、「やりがいがある」くらい残しておいてもらった）
- ・ 草刈り機中心に、一気に刈り取った。すべてを刈り終えることはできなかったが、達成感のある活動になった。草取り部隊2人は、走路付近を中心に活動した。
- ・ 学校で準備したもの：草刈り機（職員分）、いしみ(6)、一輪車(3)、竹ぼうき(3)、シャベル大(2)、補充用混合ガソリン1缶（もともと学校にあったもの）、お茶（1ケース）



案
夏号

全戸配布

令和8年7月18日発行

運動場 クリーンアップ 作戦

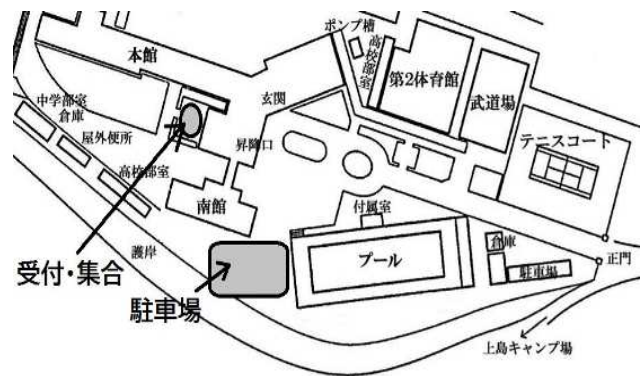


佐久間中学校では、9月30日(水)に、浜松湖北高校佐久間分校と合同で体育祭を行います。日頃の体育的活動の成果を披露する場、できるだけ整った環境で迎えてほしい…。しかし、運動場の鉄棒や金属ポールのサビが目立ってきている現状があります。

そこで、今年の「運動場クリーンアップ作戦」では、

サビ落としとペンキ塗り

を実施したいと考えています。お手伝いいただける方の御協力をお願いします。



日 時 令和8年9月10日(木) 8:30~9:30

※雨天等の場合翌日(11日)に順延

受付場所 生徒昇降口前(上図参照)

持ち物 水筒・タオル・軍手

※各自で十分な熱中症対策をお願いします。

※ペンキ、はけ等の道具は学校で準備します。

参加申込 佐久間中教頭(鈴木)まで電話で御連絡いただくか

スマートフォン等からQRコードを読み取って

お名前と連絡先を入力してお知らせください。

電話番号 965-0237

